

平成 30 年度

秋入試

茨城大学大学院人文社会科学研究科

入学試験問題

社会科学専攻

専門科目

社会科学専攻 入学試験問題（専門科目）

科目名（行政学研究）

解答は解答用紙に記載してください。あなたが受験している専門科目名を、所定の欄に必ず記入してください。（解答はすべて日本語で行うこと）

（設問）

日本の地方行政における行政改革（広い意味でとらえてよい）に関して、その背景、具体的な政策や施策の内容、政策や施策の帰結や課題について述べなさい。

平成 30 年度茨城大学大学院人文社会科学研究所

社会科学専攻 入学試験問題（専門科目）

科目名（ 経済政策研究 ）

解答は解答用紙に記載してください。あなたが受験している専門科目名を、所定の欄に必ず記入してください。（解答はすべて日本語で行うこと）

（設問）問 1 と問 2 の両方に答えなさい。

問 1 GDP とは何か。GDP を増大させるものと GDP を増大させないものを具体的に説明しながら述べなさい。

問 2 日本では、2015 年に「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」が成立し、1 日 1 時間雇用する労働者の数が 300 人を超える民間事業主等に、女性の活躍推進に向けた行動計画の策定等が義務付けられた。このように日本政府が女性活躍を推進することについて、経済学の観点から評価して私見を述べなさい。

平成 30 年度茨城大学大学院人文社会科学部研究科

社会科学専攻 入学試験問題 (専門科目)

科目名 ( 労働経済論研究 )

解答は解答用紙に記載してください。あなたが受験している専門科目名を、所定の欄に必ず記入してください。(解答はすべて日本語で行うこと)

(設問)

2016 年に世界経済フォーラムが発表したジェンダーギャップ指数ランキングで、日本は経済分野における順位を大きく落とし、世界 144 か国中 118 位でした。経済分野のジェンダーギャップの大きさは、職場でどのようなかたちであらわれているのかを具体的に詳しく説明してください。そのうえで、ジェンダーギャップを縮小するために政策や職場の人事労務管理をどのように改革すべきかを論述してください。

平成 30 年度 茨城大学大学院人文社会科学研究所

社会科学専攻 入学試験問題 (専門科目)

科目名 ( アジア経済論研究 )

解答は解答用紙に記載してください。あなたが受験している専門科目名を、所定の欄に必ず記入してください。(解答はすべて日本語で行うこと)

(設問) 以下、すべての問いに答えなさい。

問 1. 以下の用語について、説明しなさい。

- ① 輸入代替工業化戦略
- ② 輸出指向型工業化戦略

問 2. アジアの国を 1 つ挙げ、その国の工業 (産業) 政策の変遷 (第 2 次大戦後の国民国家成立以降から現在まで) について論じなさい。

問 3. 問 2 で論じた国の工業化について、その現代における課題とは何か、論じなさい。

社会科学専攻 入学試験問題 (専門科目)

科目名 ( 経営学研究 )

解答は解答用紙に記載してください。あなたが受験している専門科目名を、所定の欄に必ず記入してください。(解答はすべて日本語で行うこと)

(設問)

「地球温暖化」に対していかに向き合うのかは、現在の人類が抱える大きな課題の1つである。この課題に対して、2015年に「パリ協定」が採択された。「パリ協定」には、二酸化炭素排出量の上位2国であるアメリカと中国が参加した点で、画期的な協定であった。「パリ協定」への評価は様々にあり得ようが、産業革命以降の企業活動による地球温暖化への「反省」が世界的に共有された瞬間であったという点は評価されるべき点であろう。しかしながら、以降のこの両国の「パリ協定」への姿勢は異なっているように見える。トランプ政権の下でアメリカは今年パリ協定から離脱した一方、中国はパリ協定への積極的な対応を示し続けている。政策決定の背景には様々な要因があるが、この対照的な両国の対応は、地球環境問題と企業活動との関係の複雑さを表しているとも言えよう。

以上を踏まえて、以下の問いにすべて答えなさい。

(1) アメリカはなぜ、「パリ協定」を離脱したのであろうか。企業活動との関係から論じなさい。

(2) 地球環境問題への対応は企業にとっていかなる意味を持つであろうか。具体的な企業活動を例示しながら論じなさい。

社会科学専攻 入学試験問題 (専門科目)

科目名 ( マーケティング論研究 )

解答は解答用紙に記載してください。あなたが受験している専門科目名を、所定の欄に必ず記入してください。(解答はすべて日本語で行うこと)

(設問)

マーケティング研究が企業(売り手)と顧客(買い手)に注目する理由は、そこに市場が存在するからである。一般に市場とは、売り手と買い手による経済的価値交換の場であるといえるのだが、売買を成立させる企業活動だけでなく、近年のマーケティング研究では、消費・使用段階へと議論が拡張している。こうした視点は、あらかじめ市場を特定する従来のマーケティングと異なるだけでなく、静態的かつ受動的な顧客観の転換を求めているといえる。

さて、こうした議論のひとつに、交換パラダイムから関係(性)パラダイムへの転換がある。ここでいう関係(性)パラダイムとは、①当初どのような背景から生じたといえるだろうか。また、②静態的かつ受動的な顧客観の転換とともに期待される関係(性)とは、①が示された当時と現在で、どのような違いがあるといえるだろうか。さらに、③関係(性)の捉え方にどのような議論が加わり、新しい時代のどのような現象に対応した検討が進んでいるのだろうか。これら①~③のすべてについて、特徴的なマーケティング研究の成果を指摘しながら、あるいは事例を踏まえながら説明しなさい。

平成 30 年度 茨城大学大学院人文社会科学研究科

社会科学専攻 入学試験問題（専門科目）

科目名（国際政治学研究）

解答は解答用紙に記載してください。あなたが受験している専門科目名を、所定の欄に必ず記入してください。（解答はすべて日本語で行うこと）

（設問）

現在の日本が抱える領域（領土・領海・領空）についての問題の例をひとつ選びなさい。それを研究するに最も適切と考えられる国際政治学の理論や方法について、その中身や特徴を説明したうえで、なぜその理論や方法が問題の説明や解明に有用なのか、選択した事例と関連づけながら理由を述べなさい。

平成 30 年度 茨城大学大学院人文社会科学部研究科

社会科学専攻 入学試験問題 (専門科目)

科目名 (地誌学研究)

解答は解答用紙に記載してください。あなたが受験している専門科目名を、所定の欄に必ず記入してください。(解答はすべて日本語で行うこと)

(設問) ヨーロッパにおける農業の地域的特徴を指摘した上で、現在の EU の農業政策について説明しなさい。

社会科学専攻 地域政策研究（社会人）コース 入学試験問題（小論文）

（設問）

あなたの自治体が抱えている地域課題を踏まえつつ、自身の研究計画と研究の社会的意義について説明せよ。なお地域課題については、次に示すキーワード群から一つ選ぶこと。

キーワード：少子・高齢化、人口減少と人口流出、観光振興、まちづくり、医療・介護・福祉、コミュニティ